

# やしきだ綾香 あやか

## 江東区議会自民・参政・無所属クラブ 区政レポート 2024 春号

発行：江東区議会 自民・参政・無所属クラブ  
〒135-8383 江東区東陽 4-11-28  
やしきだ綾香事務所  
〒136-0074 江東区東砂 3-17-17  
TEL 03-3646-5024  
FAX 03-3646-9766  
MAIL yasikidaayaka@yahoo.co.jp  
f 屋敷田綾香



令和5年決算審査特別委員会（2023年9月・10月）での質問内容です（Q：やしきだ区議の質疑、A：行政側答弁）

### 1 民生費について

#### 1-1. 障害児(者)入所・通所関連事業について

やしきだ  
あやか

令和4年度までに整備されている障害者の通所施設、生活介護施設、就労継続支援型施設について。**城東地域、深川地域、臨海部の整備状況、整備されていない臨海部（有明地域と東雲地域）**について伺います。



障害者  
施策課長

1 施設で複数サービスを行うところもあるので、サービス数で回答します。生活介護、就労継続支援、就労移行支援等、複数のサービスがあり、**区内で約80のサービスを提供**しています。**7割を占める生活介護と就労継続支援の事業所は、城東地域で約30、深川地域で約15、臨海地域は約10。**有明や東雲の地域は、賃貸物件が少なく、家賃の影響で、**障害者通所支援施設等の運営が難しい**のが課題です。引き続き、民間事業者による施設の開設を促していきます。

やしきだ  
あやか

生活介護施設へ通う際、各施設の通所バスで送迎します。有明や東雲地域からだと、往復で約3時間もかかるなど、障害の特性で長時間バスに乗れない方もいます。また途中でトイレに行きたい人も出て、到着スケジュールや園の午前のカリキュラムに影響がでます。住んでいる場所や送迎ルートが遠い場合には、親が毎日送迎したり、負担や生活への影響も大きいです。**利用者の特性やリスクを減らすため、臨海部方面から直通となるバスの増車における、区の補助や支援**についての区の見解を伺います。

障害者  
施策課長

今現在、検討はしていません。通所バスの状況として、長い乗車が可能な方、あるいはそうではない方、また、特別なケアが必要な方、利用者の方の個々の状況に合わせ、ルートの設定を行っている状況です。**バス運転手の確保が非常に難しく、大きな課題の一つ**と考えています。

あやか  
の想い

**片道1時間半を毎日往復で江東区内を3時間走っているとなると、負担が大きいです。**このような問題があることを情報共有し、いい形で今後検討いただきたい。またバスは、当面の課題を解決するための提案ですが、何より東雲地域・有明地域に施設が整備されることが一番。今後とも引き続き、力を入れていただきたいです。

#### 1-2. 移動支援従事者の養成について

やしきだ  
あやか

移動支援給付事業の令和4年度の実績についてお伺いします。

やしきだ  
あやか

その913名の方の障害児者の外出や余暇活動等、社会参加の外出のために、ホームヘルパーサービスを利用できる利用券が、**1ヶ月あたり16時間から32時間配布**されています。しかし、**ほとんど利用ができておりません**。これについて区は何か把握していますか。

やしきだ  
あやか

区内に68の障害福祉サービス事業所が存在します。区内に届けている事業所の登録内容では、障害者介護を受け入れていることになっていても、実際に連絡すると、引受けができない事業者が多いことが分かりました。原因は、**障害者福祉の資格を持つヘルパーさんが、ほとんどいない**ことです。資格取得の研修や支援は、事業者任せで、小さな事業所では研修体制がなく、ヘルパーの多くが、資格を取れていません。結果、**引き受けできる人材が不足**しています。**区のサポートで資格取得のための研修体制や勉強会を開けない**でしょうか。

障害者  
施策課長

**実利用者数は、913名**が利用です。



障害者  
施策課長

移動支援のヘルパーの人材確保について、**対策を講じてほしい**という要望をもらっています。

障害者  
施策課長

現在、**都道府県の所定の研修プログラムによる認定を受けた民間事業者による研修が実施**されています。西側で多くて、東側は少ない状況なので、今後動向等を見ていきたいと考えます。

あやか  
の想い

高齢者介護と障害者介護では、高齢者介護の報酬単価が高く、障害者介護は報酬単価が低いため、積極的に取り組む事業者が少ないので、江東区として、資格取得者が増えるための取組にも、ぜひ、力を入れていただきたいです。

### 2 教育費について

#### 2-1. 図書館関連事業について

やしきだ  
あやか

江東  
図書館長

令和4年度の評価と課題をお伺いします。

令和4年5月に、**こどもプラザ図書館が新開設**。地域とも連携して様々なイベントを実施し、**計画に掲げる取組を着実に推進できた**と考えています。ただ利用登録者数は、コロナ禍前の水準まで戻っておらず、読書離れが進む傾向が高くなる**中高生世代を中心に、さらなる取組**が必要と考えます。



やしきだ  
あやか

読書が生活の一部となるには、幼い頃から大人と共に本に触れる必要があるかもしれません。乳幼児のブックスタートは、こどもの健やかな成長、コミュニケーション能力の向上の観点から重要で、**親子で絵本に親しむ時間を大切にする区**であってほしいです。

まず、保護者自身が本の楽しさを感じ、本を選ぶことの楽しみと同時に、**心に余裕を持ってこどもと過ごせるための環境づくりや支援の在り方、工夫を、本区でさらに進めるべきだと**考えます。そこで今現在、各図書館でおはなし会が開かれていますが、開かれていないときは、どのように使われていますか。

江東  
図書館長

開催していない時間帯については、それぞれの図書館での実施スペースにより異なりますが、**おはなし会以外のイベントで活用したり、その間の状況に応じた活用**が図られています。



#### 令和6年度の予算の一部をご紹介

子ども

- 宿泊型産後ケアの拡充と1歳を迎えるお子さんにバースデーサポート
- 未就学児を定期的にお預かりする新たな取り組みをスタート
- 病児・病後児保育を新たに2カ所設置
- 学童きっずクラブの定員の増加

障害者  
高齢者

- 亀戸9丁目に区内16カ所目の特別養護老人ホームを整備
- 女性、ひとり親などへの支援を促進！生活応援課の新設
- 長寿サポート、センターの機能強化、体制整備
- 本区初の日中サービス支援型障害者グループホームの整備

地域活性

- 「豊洲・千客万来」と深川・城東をつなぎ区の魅力を発信
- 新一万円札の顔、渋沢栄一関連事業
- 江東区の魅力発信！ふるさと納税を開始
- 江東区版カーボンパークの誕生

詳しくはこちらをご覧ください





以前、例えば江東図書館は、おはなし会以外は何も開かれていなくて、その部屋は閉じていると伺いました。そこで、使われていない時間、使われていない部屋、スペースを活用し、1週間の間の1日3時間でも4時間でも、その場所を読書応援タイムとして、**こどもの一時預かりスペース**で活用するのはどうですか。



江東図書館、深川図書館以外の図書館9館は、指定管理者制度を導入し、指定管理者の創意工夫し自主的に運営しています。ですので一律での導入は困難ですが、**子育て中の保護者が気兼ねなく図書館を利用できるサービス・環境の整備**について、図書館としても重要なと認識しています。

## ③ 衛生費について

### 3-1.がん関連事業について



胃がん検診について伺います。令和4年度は区内の医療機関によるX線検診を新たに実施されたこと、また、**内視鏡検診の対象者の拡充**を行ったことにより、前年度と比較しての評価をお伺いします。



17%増加について、受診者のうち、直近で**要精密検査になった人の人数**や**割合**と、**精密検査のうち、胃がん発見率の人数、割合**も併せてお伺いします。



改めて検診の重要性を感じると共に、精密検査に該当した約400名は、胃潰瘍や胃炎などで引っかかったことになると思います。国際がん研究機関は2014年、胃がん対策ではピロリ菌除去に重点を置くべきだと発表され、国内の専門学会も2016年に改定したピロリ菌感染の予防や治療に向けた指針の中で中高生ら若い年齢層での検査が特に重要と指摘しました。そこで若い世代に向けた**胃がん検診**について、区の見解を伺います。

### 3-2.ピロリ菌対策事業について



近年がんの**早期発見・早期治療のタイミングや年齢を見直す動き**があります。胃がんの主な原因とされるピロリ菌で、日本人の胃がんの99%がピロリ菌に感染して胃炎を起こすことから始まります。ピロリ菌は胃酸の分泌が不十分で、免疫の弱い5歳ぐらいまでに感染すると言われば、除菌治療で治療ができるとされています。

そこで、多くの自治体では、**義務教育の中学生かつ受験前の中学2年生を対象に、希望者に尿検査**を実施。感染が確認された場合、任意で除菌治療、再

除菌治療へ繋げて、成人になるより前に将来の胃がんを防ぐ取組を進めています。**胃がんの予防対策の観点から、中学2年生のピロリ菌対策事業を本区でも導入すべき**と考えます。見解をお伺いします。



## ご報告

令和6年1月、3名の江東区議会議員が公職選挙法違反により起訴され、この度の一連の公職選挙法違反事件は、区政史上に大きな禍根を残す事態となりました。色々な考え方、ご意見はあると思いますが、私の考えを述べさせていただきます。何事も物事を進めるには筋を通すことが前提となります。

今回の一連の事件は、例えて言うならば「A会社に所属している人がB会社の営業をしていた」というような動きから、**多くの人を巻き込んだ結果、間接的にその動きを支援、あるいは全く何も考えずに行動してしまった結果の起訴**であったと私は考えます。

2月から3月にかけて行われました第1回定期会において、自民・参政・無所属クラブは、公明、共産会派と共に、起訴された3名の区議に対して辞職勧告決議を提出し、可決されました。

出所進退は自らの判断によるものです。しかし**事件の区長選挙に係る行動**について、選挙より前に柿沢元議員が筋が通していない行動をしていたという情報は私にも届いていました。

議員にとって、**情報は活動において命そのものです。**

**私たち議員は、誰がどんな動きで何をしようとしているか、それがどのような影響をもたらすのか、その都度検証し、行動しなければなりません。**

議員として先を見通した行動が求められます。それ程に、議員は重い仕事であると感じています。

私は**支援者の皆様から、政治に関わるものとして、何かを前に進めるためには、**

### やしきだ綾香 プロフィール

1985年南砂生まれ、現在東砂在住。

- ★ 江東めぐみ幼稚園、第3砂町小、第3砂町中、  
都立東高卒業。文京学院大学人間学部 保育学科卒業。
- ★ 保育士資格取得(平成20年3月東京都知事認証)



胃がん内視鏡検査の対象者を**50歳代から60歳代に拡充**し、バリウム検査は、区内13医療機関で実施できるよう受診環境の整備を図った結果、**受診者数は前年度比17%増加**しました。



直近でデータがまとまっている令和3年度の胃がん検診の**受診者 5,939人**のうち、**要精密検査は416人、要精検率7.0%**で、**がんが発見された人は5人、がん発見率0.08%**です。



がん検診の実施は、科学的根拠に基づく検診を適切な精度管理の下で実施することが重要。国の指針では、胃内視鏡検査は50歳以上、胃部X線検査は50歳以上ですが、**当面の間40歳代にも実施してよい**とあり、区では**40歳未満は対象**と考えています。



ピロリ菌の感染が胃がんのリスクであると科学的に証明されていますが、健康で無症状の集団に対するピロリ菌の除菌による胃がん発症の予防効果については、現在、国において国内外の知見を収集し、科学的根拠に基づき除菌の必要性の有無及びその対象者について検討がなされている状況です。**中学2年生のピロリ菌検査の導入は、今後の国の動向を注視**していきます。



国立がん研究センターなどは2023年8月1日、がんが社会に与える経済的負担は年間約2兆8,600億円、そのうち約1兆円は予防できる可能性のあるがんと推定結果を発表。感染が約4,800億円で最も多く、感染の中でもピロリ菌による胃がんが約2,100億円。最新のがん統計では、年間約100万人ががんと診断され、38万人が亡くなっています。

将来の胃がんを防いでいく観点からも、若い世代から始められる**胃がんの予防事業**について本区でも導入すべきです。



2019年に日本全国で約80の自治体が導入。佐賀県では県全体を挙げて導入し、無症状の中学生にピロリ菌除菌を行うと不利益を生じるという科学的根拠もないため、各自治体で、「リスクを減らす予防策」としてこの検査を導入中。

若い人のピロリ菌感染は家族の中で、特に母親からの感染がほとんどです。若い世代で除菌することは次世代への感染予防の効果も期待できます。江東区独自でぜひとも導入を検討いただきたいです。

必ず筋を通さなくてはならないことの大切さをご指導いただいております。私たちの行動は、多くの人に影響するものであり、責任を持った行動をしなければ、取り返しのつかないことにもなりかねません。今、国政でも政治不信を招く事態が起こっています。これを機に、**政治の役割が正され、本来の在るべき姿へと変わる**よう願うとともに、**区議会議員の1人として、政治に対する皆様の信頼が戻る**ような活動を行っていきたいと思います。



- ★ 平成27年4月 江東区議会議員 初当選
- ★ 厚生委員会委員
- ★ 防災まちづくり対策特別委員会 副委員長
- ★ 手話推進議員連盟 世話人